

目 次

◆巻頭言 回顧と展望加藤 三重次/1

◆特集：「地下空間利用の展望」

地下空間利用の現状と課題森 安 研/3

地下空間利用の現状と課題中 島 英 史/8

大深度地下鉄道について宮 地 陽 輔/12

地下の施工技術の現状と課題根 上 義 昭/16

京葉都心線東京地下駅の施工渡 辺 節 雄/22

グラビヤ—京葉都心線東京地下駅工事

地下石油備蓄基地の概要蒔 田 敏 昭/29

地下ダムの現状と課題榎 倉 克 幹/36

◆随 想 機械化 40 年独り言上 東 公 民/40

宮ヶ瀬ダム工事の近況上 阪 恒 雄/42

盛土締固め度測定システムの開発長 健 次/50

炭素繊維による耐震補強工法の開発野 村 潤/55

◆新工法紹介

KNAP 工法/OMR/B 工法調 査 部 会/60

◆新機種ニュース調 査 部 会/62

◆文 献 調 査

文献目録紹介文 献 調 査 委 員 会/65

◆ISO 規格紹介

土工機械に関する ISO 規格 (37)I S O 部 会/69

◆統 計

建設投資推計ほか調 査 部 会/71

理事会の開催/72

行事一覧/72

編集後記(中島・牧・加藤)/76

◀表紙写真説明▶

TCM R 350 型ロータリ除雪車
東洋運搬機株式会社

本機は 350 馬力搭載 2 ステージ式として昭和 53 年度開発、発売以来、高速道、国県道、空港など幅広く活動しており、操作性、性能、経済性について、それぞれのユーザの方々から非常に好評を得ている。主な特徴を以下に示す。

① 折たたみ式シュート採用により走行時の前方視界 100% と安全性向上、また全旋回式で後方積込み可能。

② 電気式トランスミッションで操作力が小さく操作性がすぐれている。

③ エマージェンシーブレーキで異常が発生した場合、自動的にブレーキが作動し安全性が抜群。

◀主な仕様▶

最大除雪量.....	2,500 t/hr
最大除雪幅.....	2,600 mm
最大除雪高.....	1,750 mm
投雪距離.....	40 m
走行速度.....	9~40 km/hr
総重量 (乗車定員 3 名).....	18,840 kg